

生ける水

発行者
日本福音教会連合
岡山市北区丸の内
1丁目11番15号
理事長 倉賀野 攻
編集長 田 正 信

わたしを信じる者は、聖書に書いてあるとおり、その腹から生ける水が川となって流れ出るであろう。ヨハネ7:38

目次

P.1	恵みと祈りの霊を注ぐ……	倉賀野 攻
P.1	時の声	京子
P.2-3	教会一〇〇年の歩み……	青木 正信
P.2-3	いのちの雫……	太田 井緑
P.3	新年の抱負……	石井 浦田
P.3	パウロのように……	三浦 正信
P.4	イスラエルの旅ご案内……	太田 正信
P.4	第40回総会・牧師研修会	
P.4	報告・案内 etc …	

恵みと祈りの霊を注ぐ

岡山中央基督教会牧師

理事長 倉賀野 攻



岡山中央教会

明けましておめでとうございます。昨年一年間の皆様方のお祈りとおさげもの、御奉仕等本当にありがとうございます。今年もどうぞよろしくお願いたします。

今年には連合創立四〇周年記念の年であり、二〇一〇計画の最終年でもあります。すでに二〇一〇計画の中で連合の規約・規則を一部改正してスリム化し、動きやすくなりました。

又、クリスマスチャンのキリスト化については、聖書を重んじて、特に夏季聖会には、関東方面からの参加者もふえてきました。関東聖会や中国聖会もそれぞれ祝福され、きよめの恵みにあずかる機会がふえてきました。

さらに全教会の成長に関し

でも、各教会の牧師、信徒の皆さんが、良く伝道奉仕をして、充実し、成長していることを見る事ができました。

そこで、今年も、二〇一〇計画の総括ともいべき年です。その総括はなんといつても「祈り」です。祈る事によって、実が結ばれ、計画が達成され、今後前進していくのです。

使徒行伝に記されている、初代教会の前進は、やはり、祈りがすべてでした。

祈りがすすんで、やはり、ペンテコステ前の十日間の祈りで「彼らはみな……心を合わせてひたすら祈りをしていった」（使徒行伝一章十四節）のです。そこへ聖霊が降り、多くの人々が救われ、受洗し、キリスト教会が誕生したので

です。だんだん迫害が強くなる中で、ペテロが投獄された時、「教会では、彼のために熱心な祈りが神にささげられた」（使徒行伝十二章一〇節）のです。

祈りの霊を注ぐ（ゼカリヤ書十二章一〇節）とお約束下さいました。

教会の祈禱会や早天祈禱会を充実させて下さい。牧師だけ、牧師の家族だけの時もあるかもしれませんが、それもあるかもしれません。信徒の皆さんも祈禱会に出席して下さい。昔、東京の新栄教会は、礼拝出席者と祈禱会出席者が、ほぼ同じであったというのです。

個人個人の祈りの時（デボーション）も大切です。「静まってわたしこそ神であることを知れ」（詩篇四六篇一〇節）静かにお祈りをする時が一番楽しい時です。時には苦しい時もあります。昨年、「日本福音教会連合祈禱帳」が各教会に配付されましたが、自分の教会と共に連合の教会のために祈り合うことも恵みです。祈ったあとで、その教会に励ましのハガキでも出して下さい、お互いの教会の前進に役立つことでしょう。

さつそく三月一日、二日は第四〇回の総会が開かれます。各教会よりぜひ御参加下さい。続いて、牧師研修会がもたれます。全牧師の御参加をお願いいたします。先ず牧師が聖霊に満たされることから、前進がはじまります。

八月の夏季聖会には、今から心がけて、都合をつけて、多数御参加下さい。聖会が命です。費用がかかりますが、神様が与えて下さいます。休みもとれますようお祈りしましょう。

あわせて、地区の、関東聖会や、中国聖会にも参加して恵まれて下さい。一人一人の霊的成長が、教会や連合の前進となるのです。

尚、連合創立四〇周年を記念して、四月十三日（火）二一日（水）、イスラエル旅行を行います。これにも多数御参加下さり、イエス様の歩まれた足跡をたどって、イエス様に親しくふれて下さい。必ず信仰が前進します。

「ガラヤの風薫る丘で人々に話された、恵みの御言葉を私にも聞かせて下さい」

「ゴルゴタの十字架の上で罪人を招かれた救いの御言葉を私にも聞かせて下さい」

（新聖歌四〇番）

時の声

新しい年、二〇一〇年となり、早一カ月が過ぎました。昨年は、政権が交替して、長年の自民党政治、特に腐敗した官僚政治から国民サイドの政治に議員が努力している姿勢が見えますが、それでも旧態依然の金と政治、献金問題で変っていない事が連日マスコミが報じています。

年は変わり、政権は変わり、人が変わっても実際は一時的、表面的で、何も変わっていないのが現実です。

『誰でも新しく生まれなければ』（ヨハネ3章3節）の「新しく」は、初めから、完全に、根本的にと言う意味と母の胎からもう一度の再びと天から、上から、即ち、神からと言う意味があります。

国民サイド、真の民主主義民主政治は歓迎すべき事です。が、実際には根本的、本質的な罪が解決されていない以上理想と現実のギャップは埋められません。しかし、イエス・キリストの再臨によってもたらされる愛と真実、正義と公平の政治が主が王となられて行われる千年王国の到来によって実現します。

『しかし、わたしはすぐに来る。』アアメン、主イエスよ、来たりませ。黙22章20節

（新聖歌四〇番）

教会一〇〇年の歩み

米子キリスト教会
牧師 青木京子

米子キリスト教会は、人口一五万三千人の地方都市であり、国立公園大山を仰ぎ、北は日本海、西は中海、市内には皆生温泉があり、弓ヶ浜半島、境港市と続き四季を通して大自然の素晴らしさを満喫させてくれます。

教会は米子駅からは徒歩一分と言う位置にあり、また米子自動車道も開通し交通の便も良くなりました。

一九〇九年(明治四十二年)七月一日、米子市西倉吉町に「東洋宣教会山陰中央福音伝道館」を設立し、秋山由五郎師を主任牧師に、小出朋治師を副牧師として伝道を開始しました。

またこの年に国鉄山陰線が開通した事もあって、米子が交通の中継地となり、鉄道関係者が多く住む町となりました。国鉄職員の方が熱心で、教会を支え、山陰地方に伝道の働きが力強く進められ、今年で丁度百周年を迎えました。

一九一七年組織が改められ「東洋宣教会米子ホーリネス教会」と教会名が改められ、清水良太郎師が主任牧師とな



りました。

一九一八年、キリスト再臨運動が起き、一九一九年この年から翌年にかけて「リバイバル運動」が全国に起きて、教会も力強く伝道、奉仕に励みました。

一九三三年十月、淀橋教会で臨時年会を開催、再臨信仰の問題で中田監督解任が決議され、ホーリネス分裂事件に発展しました。一九三六年、「東洋宣教会ホーリネス教会」は「日本聖教会」と改め、これに伴い教会名を「米子聖教

会」と改名しました。一九四二年戦争が激しくなり、治安維持法違反の故をもって聖教会、きよめ教会等が、全国一斉検挙にあい、「米子聖教会」も六月二六日、家宅捜査を受け書類多数が押収されました。

一九四三年「米子聖教会」は遂に解散を命じられ、山中日出刃牧師は牧師職を剥奪されました。一方特高警察から鳥取教会の大田一牧師を介して、錦町教会の集会に出席して信仰を続けるようにと勧められ、その教会に出席した信徒と、日本基督教団鳥取西町教会米子伝道所として矢倉

家で集会を続けた信徒もいました。(一九四四年四月まで妹尾三男兄が生山に転勤するまで続けられました。)

一九四五年終戦と共に一月一三日政府勅令により、「治安維持法」は廃止となり、弾圧による苦難を忍びながら信仰を継続した信徒は、江尾教会担任の小林竹千代師を招き、一月より伊藤家で集会を続けました。

一九五一年集会所を東町に移し、小林師を主任牧師として迎えました。

一九五二年日本基督教団及びホーリネスの群を離脱して、新しく創立する「日本福音教団」に加入する事によって教会が分裂し日本基督教団に残

った人々も、離脱した人々もお互いに痛みを覚えつつ伝道をして来ました。

一九六七年、昭和町に新会堂を建設し、一九七一年、日本福音教団を離脱し、日本福音教会連合に加入、宗教学人「米子キリスト教会」と改め

ました。一九八六年一月、教会の中心として活躍されました妹尾三男兄が、突然天に召され深い悲しみにつつまれました。三月は二一年間教会の発展と不屈の忍耐力と変らない勤勉さをもって牧会を続けてこられました。千恵子牧師が高知福音教会に転任されました。四月に後任に青木林平、

京子牧師を迎えて伝道を進めて行きました。トラクト配布、野外礼拝など楽しい集りを持ちつつ祈る教会、祈る指導者として教会に仕えて来ました。青木林平牧師が一九九八年五



米子キリスト教会生誕100周年記念 2009年11月8日

いのちの雫

いのちの雫
生命の聖言

岡山勝栄基督教会
牧師 太田 正信

主の慈しみは絶えることなく、その憐れみは尽きることがない。これは朝ごとに新しく、あなたの真実は大きい。哀歌三章二二―二三節(24節から41節紙面の都合で割愛)

十八歳の秋から教会に通い、牧師ご夫妻の暖かさ、御言によってイエス様に出会い、救われ育まれました。

特に、御言は文字通り神の言葉として私に臨みました。生まれて初めて礼拝出席して与えられた御言「あなた方がわたしを選んだのではない。わたしがあなた方を選んだのである」(ヨハネ15章16節)から現代まで、その時の環境、心の状態に応じて「生命の聖言」が与えられ、自我が折られ、魂は碎かれ、信じる事、祈る事、従う事、愛する事などの訓練を受けて来ました。

そしてこれは地上の生活が終わるまで続くものである事も教えられています。

『人はパンだけで生きるものではなく、神の口から出る一つ一つの言で生きるものである』(マタイ4章4節)の

新年の抱負

熊毛キリスト教会

牧師 石井 緑



イエス・キリストの十字架と復活の恵みは、四重の福音と言われています。この恵みによって私たちも教会も今日あるを得ています。これから神様の恵みによって守られ

支えられますことを信じていますと語られました。これからの課題は、信仰の継承と、恐れず、愛に根ざし、愛を基礎とした教会形成がなされることを心から願っています。

二〇一〇年を迎えて主の前に祈りつつ、神様がこの小さきものに、どのように歩むようお願いしておられるのか待ち望んでいた時、昨年の事をいろいろ思い出しました。二月頃から始まった父の介護、五月に父の召天、私にとって大きな事でした。その後母と共に熊毛キリスト教会の働きを続けていくにあたり小さな力なき者であるがゆえ心はずしり重い荷を背負っているような日々でした。そのような神様のあわれみによって、多くの方々の祈りに支えられ、母と祈りつつご奉仕させていただいて感謝でしたが、いろ

パウロのように

聖泉キリスト教会

牧師 三浦 愛



ちた歩みができていなければ証しになりません。言葉で語れなくても私の姿を通して証しとなるような歩みを今年心掛けたと思います。

昨年、クリスマスコンサートを他の教会の方の勧めで開かせていただきました。感謝なことに教会の近くから数名の方々が来てくださいました。誘ってくださいくださった方がよき証しとなっていたことを思いました。

たとえ、患難の中で喜ばない、喜びを失っていたとしても、神様との平和、希望、聖霊、愛は、すでに私達に注がれていることを感謝し、歩みたいと思います。

神様から与えられている愛を思い起こし、喜びをもって、足りない小さな者ですが、多くの方々に神様に出会ってもらえるように、祈りつつ、教会の働きに励みたいと思っています。

私は、神の力の働きにより、自分に与えられた神の恵みの賜物によって、この福音に仕える者とされました。

エペソ3章7節

この聖句は、今年聖泉キリスト教会に示された聖句です。エペソ書の著者であり、私達が知っているパウロは「使徒の中で最も小さい者」どころ

の道から救うだけでなく、彼に新しい使命を与えたのです。福音伝道という使命は、特別に素晴らしい祝福です。使命に生きることは、その使命を生きた上で第一に考える事です。私達が伝道する者として遣わされる所に主は以前からおられ、私達はキリストに出会うために出かけて行くのです。神様の恵みに触れる中でパウロは自分の罪深さ・小ささを自覚して行きました。かつて教会の迫害者であった自分、人々の生死を握る神様の言葉、世界の救いがかかっている福音を委ねて下さった事を思い、神様の恵みに感謝しています。今、聖霊の時代に於いては聖書を通して教えられ、私達一人一人を通して福音が伝えられていきます。山室軍平師が「救わんがために救われてある」という言葉をよく語られていたそうです。「私のような者が救われたのだから、あの人が救われない筈がない。」と、受けた恵みを流していく者になりたいと思います。

この聖句が与えられたからには、私自身も自らの罪を受け止め、そこに主の恵みが働かれた事を感謝して、パウロのように福音伝道を喜びとし、第一の使命として、この一年を歩んで行きたいと思えます。

御言の如く、御言に生きる、即ち、神学校で早天祈祷会の訓練を受け、牧師になって二年頃、アシユラムに出会い、教会の早天祈祷会、個人のデボーションに励んで来ました。四五年の信仰生活で「絶える事がない、主の慈しみ、尽きる事がない主の憐れみ」を体験しています。それだけでなく、「これは朝ごとに新しく、主の真実の大きさ」も。「主は己を待ち望む者と、己を尋ね求める者に向かって恵み深い」哀歌3章25節とあるように、自らは、聖書一日一章、箴言（その日に合わせた章、1カ月サイクル）、一年間聖書通読表、聖書愛読こよみ、日々の聖句を毎朝のデボーションで拝読し御言を瞑想して主のご愛、恵み、慈しみ、憐れみに満たされています。

「み言葉をください」

①御言を下さい 降り注ぐ雨のように 恵みの主よ 飢えて渇きに 喘ぎ苦しむ 闇路さすらう 命のために

②御言を下さい 吹く風のようにな強く 救いの主よ からみつく罪 根こそぎされて 命新たに 芽生えるために

③御言を下さい 草に置く露のように 命の主よ 人と人との 心通わず 乱れ争う 世界のために (新聖歌四一) 小生にとって、生命の聖言は、いのちの雫です。

日本福音教会連合 第40回総会及び牧師研修会

会場 総 会 コンフォートホテル岡山
牧師研修会 岡山中央基督教会

3月1日(月)	3月2日(火)	3月3日(水)
	6:30~7:30 早天祈祷会 (岡山中央基督教会)	6:30~7:30 早天祈祷会 (岡山中央基督教会)
	9:00~12:00 総 会	9:00~11:00 研 修 II 司会、鶴沼君子師 講演、太田正信師
12:00~14:30 理 事 会	12:00~13:00 昼 食	11:00~12:00 閉会礼拝 司会、加藤信治師 説教、倉賀野攻師
15:00~17:00 総 会	15:00~17:00 懇 談 会 「2010計画 反省と感謝」 司会、阿部俊昭師	12:00~昼食 ※昼食後、解散 研修 I 講演と 「バックストンと 松江バンド」 研修 II 講演 「連合の 教師として」
17:00~19:00 夕食・自由時間	17:00~19:00 夕食・自由時間	
19:00~20:30 総 会	19:00~21:00 研 修 I 司会、三浦 愛師 講演、稲田敏朗師	

連合創立四十周年記念 イスラエルの旅ご案内

岡山勝栄基督教会
牧師 太田正信

交通機関の発達と円高によつて、三、四十年前位前から海外旅行は特別な事ではなく多くの方が体験する良き時代となつていきます。

今から三十年前、当時、広島アライアンス教会牧師であられた、大江寛人先生からお誘いを受け、一九七八年八月七日~十九日(月~土)ギリシャ(アテネ、コリント)、イスラエル、シナイ半島の聖地旅行をさせて頂きました。

（生涯教会、ベテスタの池、最後の晩餐の部屋、苦悶の教会、鶏鳴教会、エツケ・ホモ教会、ヴィア・ドロサ、聖墳墓教会、園の墓など）からダビデの墓、アブラハム、イサク、ヤコブの三人の族長とその妻たちのサラ、リベカ、レアの墓を保護する大きな建物のあるヘブロン。ガリラヤ湖、ヨルダン川、死海、紅海での遊泳。シナイ半島(セント・カテリーナ修道院)。

や地中海での海の幸と大江寛人先生ならではの企画で大感激、大満足の聖地旅行でした。それから十年後の一九八八年一月二八日~二月四日(木~木)連合主催第一回聖地旅行が実施されました(43名)。第二回は、連合創立二十周年記念聖地旅行で一九九〇年一月三十一日~二月十日。25名。第三回は、一九九三年二月一日から十二日、ローマ、エジプト、シナイ、イスラエル、ギリシャ。29名。第四回は、一九九六年二月第五回は、一九九八年三月に実施されています。因みに筆者は、第一回と第三回に参加致しました。今回、連合創立四十周年を

記念して、聖地イスラエルのみに集中した旅程を企画致しました。

その特筆すべき点は

- ①寒い真冬や旅行者の多い真夏ではなく、復活祭の直後の最高の季節の四月上旬。
- ②聖地イスラエルのみに集中で、現在見学可能な施設、見るべき教会などを網羅。
- ③期間は本年四月十三日~二日(火~水)九日間(イスラエルには7泊)。行程は余裕の配慮をしています。
- ④体力に自信のない方も自分で歩行出来れば大丈夫です。
- ⑤料金は自信の割安
- ⑥空港は成田と岡山出発で、ソウルで合流。帰りも成田と岡山空港です。

お薦めポイント

- ①結婚記念など夫婦の記念旅行に。
- ②退職や還暦など人生の節目の記念に。
- ③一生に一度の聖地旅行に。
- ④久し振りに、行ける今この機会に。
- ⑤気心の知れた方々と共に。連合内だけでなく気持ちのある方は主の歩まれた聖地をご一緒に巡礼致しましょう。

報告・案内

とさせていただきます。

十五日(火)森繁昇師(ハワイ在住、ゴスペルシンガー)をお迎えして、クリスマスゴスペルコンサートを、二十日(日)阿部俊昭師(鴻南福音教会牧師)をお迎えして、クリスマス礼拝をされました。

岡山中央基督教会(倉賀野攻師)では、十二月二十日(日)のクリスマス礼拝で室野春菜姉の洗礼式が行われました。おめでとうございます。

一月二十四日(日)バリトン歌手の時田直也氏を迎えてチャペルコンサートをされました。

関東地区協議会の総会が、一月十六日(土)聖泉キリスト教会で行われました。

中四国地区協議会の総会が、一月十九日(火)岡山中央基督教会で行われました。

日本福音教会連合理事会は二月十五日(月)午後五時から十六日(火)午後五時まで、岡山中央基督教会で行われます。お祈り下さい。

日本福音教会連合第四十回総会が、三月一~二日(月~火)コンフォートホテル岡山で、牧師研修会が二日午後三時から三日(水)まで、岡山中央基督教会で行われます。お祈り下さい。

- ◆富士見望キリスト教会(鶴沼芳道師)では、十二月十三日(日)所替戸育成会クリスマス(子供50名、大人30名出席)をされました。
- ◆十九日(土)二三日(水)には、マナデイサービスのクリスマスで君子師がクリスマスメッセージをされました。
- ◆聖泉キリスト教会(三浦清重師)では、十二月二十日(日)のクリスマス礼拝で坪郷ユキ姉、緒方好恵姉の洗礼式が行われました。おめでとうございます。
- ◆湘南教会(加藤信治師)では、十二月二十日(日)のクリスマス礼拝・祝会に、カメイ・ダイタオ師(教会料理と自然に成長する教会日本代表)を迎えました。
- ◆高地福音教会(郷千恵子師)では、十二月二十日(日)のクリスマス礼拝で、田中孝明兄の洗礼式が行われました。おめでとうございます。
- ◆熊毛キリスト教会(石井敬子師)では、十二月十三日(日)瀬孝宣師(大内福音教会牧師)をお迎えして特別礼拝と大井新太郎兄の洗礼式が行われました。おめ